

きほくのまち人探訪



ほそおか にいな
細岡 新菜 さん

9月7日から13日までの1週間、インターンシップ(就業体験)として、日吉農林公社で経験を積んだ細岡新菜さん(神戸市出身)は、兵庫県立大学の3年生。大学の講義やゼミで森林環境などについて学び、林業に興味を持った細岡さんは、実際に「現場」を見るため、林業人材派遣センターで見つけた日吉農林公社にやってきました。

毎日8時から17時までの間、公社の職員とともに現場に立ち、木の伐採や伐採した木の運搬などを手伝ったという細岡さん。「もっと重労働だ

とと思っていたけど、機械が人間の手のように動くから驚いた。女性でもできそう」とにっこり。また、「マイナスイオンを浴び、鳥や虫の声に癒されながら作業するから、全く辛くない。あっという間に17時を迎える」と、林業の魅力を話していました。

初めて訪れた愛媛県鬼北町。「皆さん本当に優しい。見ず知らずの私に対しても、すれ違いざまに挨拶してくれてとても嬉しかった」と微笑む細岡さん。「家族のように温かく、自然も人柄も魅力的な町」と、鬼北町の印象を振り返っていました。

卒業後、林業に携わる仕事がしたいと考えている細岡さん。「このインターンシップを通して得た知識や経験を活かし、今後も林業に取り組みたい」と、「林業女子」として山に飛び込む日を心待ちにしている姿がそこにありました。



▲職員の指導を受け木を伐採する細岡さん

北宇和病院
だより

北宇和訪問
看護ステーション

鬼北町は県内でも高齢化率5位、65歳以上の人口が44.14%を占めている地域です。訪問看護の目的は、対象者が在宅で主体性を持って必要な資源を活用し、生活の質を高めるために訪問看護師等が健康の保持、増進、回復を図り、もしくは疾病や障がいによる影響を最小限にとどめることです。また、安らかな終末を過ごす支援をすることです。分かりやすく言えば、病院から退院しても切れ目なく訪問看護が引継ぎ、再入院を防ぎ、住み慣れた自宅で長く療養ができるように支援することです。

北宇和訪問看護ステーションは平成18年に開設されました。現在は看護師3名、理学療法士1名、作業療法士1名の5名体制で鬼北町、松野町、旧三間町を中心に活動しています。飽和状態でお断りしていたリハビリは、専門技術師が2名体制になってから順調に利用者も増えています。今後も利用者が安心して在宅生活を送れるよう、地域から信頼されるステーションを目指していきます。

六地藏奉納相撲での一コマ。可愛らしい取り組みに、会場は思わず優しい笑顔に包まれました。



今月の一枚

編集後記
▼「食品ロス」削減のために、自分たちが今すぐ実践することがたくさんあったので、実践しようと思えます。(悠)

お詫びと訂正

広報きほく9月号に誤りがありました。お詫びの上、訂正します。

P14 せせらぎ魚っちゃんぐの開催日

(誤) 8月4日

(正) 8月11日